

京都市長 門川大作 様

はな みやこ

桜の京 ～創造・再生・発信～ — 提言 —

～新名所の創造、ソメイヨシノの保全再生、名所の活用発信～

京都市におかれましては、緑の文化首都・京都の実現に向け、市街地緑化の推進、緑の満足度の向上等にご尽力いただき、また当協会に対するご指導・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

京都は、近年の観光ニーズの高まりにより四季を通して一段と賑わいが増している状況です。

多くの人々に感動を与える要素として、歴史・文化・景観等が挙げられますが、街なかの緑景観も内外の人々を魅了する大きな理由の一つと考えています。

中でも、春の桜・秋の紅葉は、観光要素として非常に大きなウエートを占めており、特に春の桜は、多くの人々の心をウキウキさせる特別の感慨を印象付ける景観を醸し出しています。

ただ、桜の花盛りは期間が短いうえ、人波が集中して混雑することから、もう少し長くゆっくり楽しめないものかとの声をよく耳にします。

今日の桜の主役は、園芸品種のソメイヨシノの独擅場となっており、ほぼ一斉に咲き一斉に散っていく特徴から美しい景観は2～3週間程度に限定されています。

そこで、当協会ではソメイヨシノ以外の多様な樹種による息の長い花見が楽しめる桜の名所づくりへの提言並びに寿命を迎えつつあるソメイヨシノの桜景観の保全・再生に向けた取組及びその活用やグローバルな発信についても併せて提言させて頂くものです。

新たな桜名所の創造、花見の主役ソメイヨシノの保全再生を果たすことで「緑の文化首都・京都」を鮮明に具体化し都市格の大黒柱とも言える“観光振興”をより充実したものとして頂きますようお願い申し上げます。

平成30年7月

一般社団法人 京都造園建設業協会

会 長 加 藤 大 貴

印